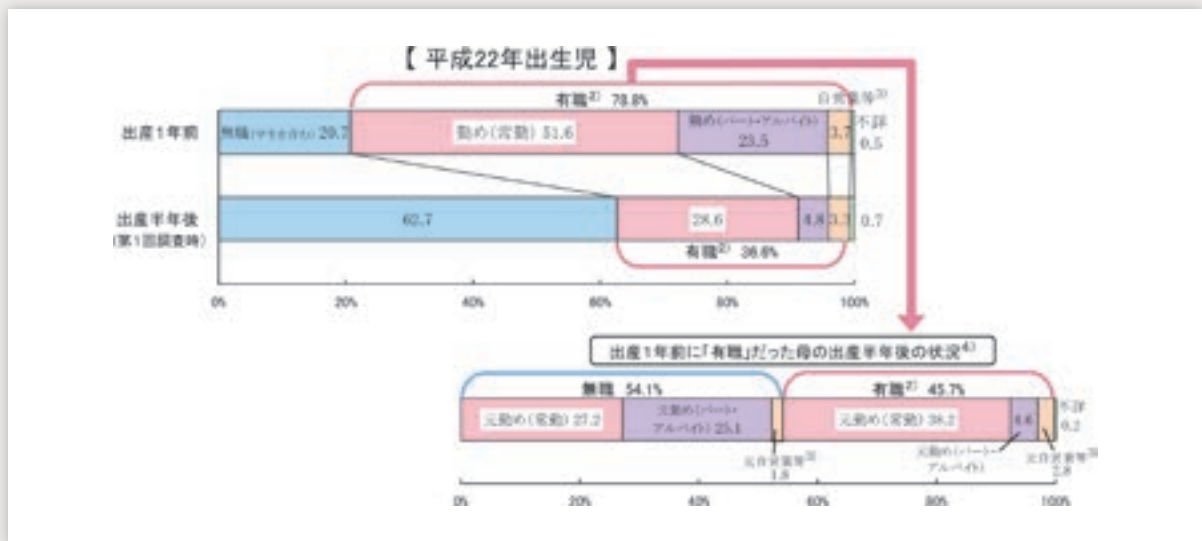


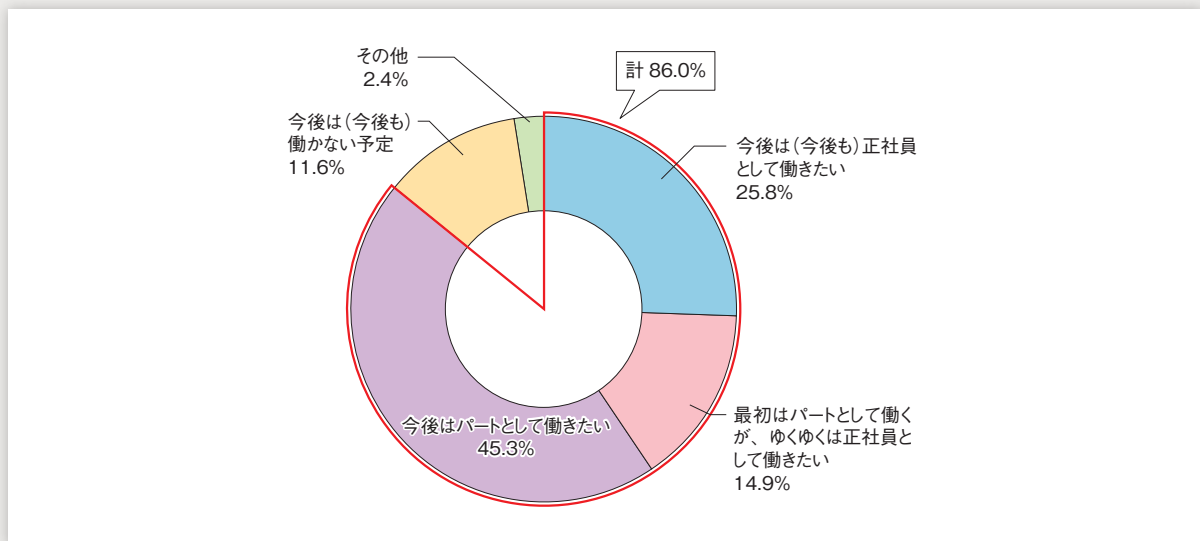
第1-1-20図 きょうだい数1人（本人のみ）の母の出産1年前の就業状況別にみた出産半年後の就業状況



資料：厚生労働省「第1回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」

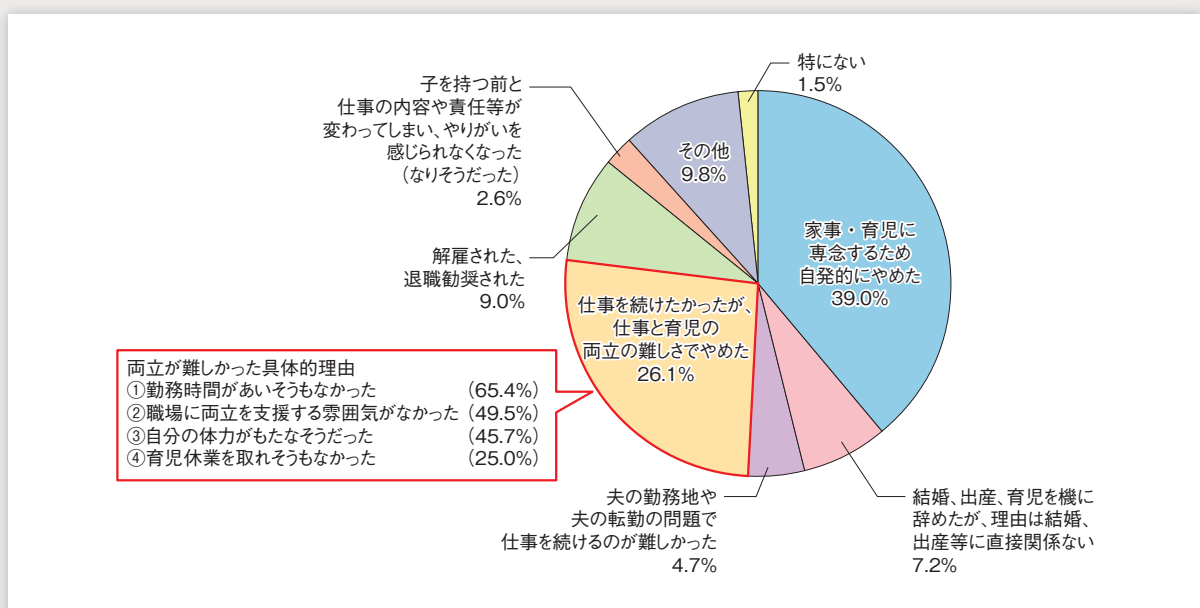
- 注：1. 第1回調査の回答を得た者（総数「平成22年出生児」38,554）のうち、母と同居、きょうだい数1人（本人のみ）の者（総数「平成22年出生児」18,100）を集計している。
2. 「有職」には、育児休業中等の休業を含む。
3. 「自営業等」は、「自営業・家業」、「内職」、「その他」である。
4. 出産1年前に「有職」だった母の出産半年後の状況は、母の出産1年前の就業状況「有職」の者（総数「平成22年出生児」14,261）を100として集計している。

第1-1-21図 妻の就労意向について



資料：内閣府「都市と地方における子育て環境に関する調査報告書」(2011年)

第1-1-22図 妊娠・出産前後に退職した理由



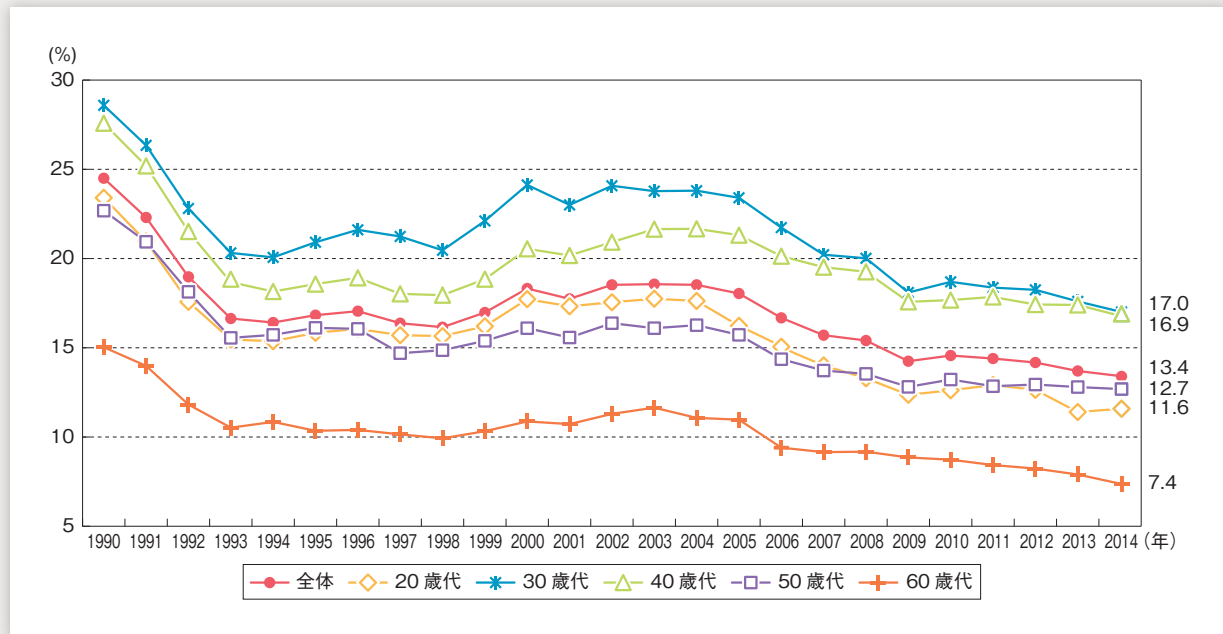
資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「両立支援に係る諸問題に関する総合的調査研究」(厚生労働省委託)(2008年)

子育て世代の男性の長時間労働

男性について週60時間以上の長時間労働をしている人は、どの年代においても、2005（平成17）年以降ほぼ減少傾向にある。しか

しながら、子育て期にある30代男性については、17.0%が週60時間以上の就業となっており、ほかの年代に比べ最も高い水準となっている。

第1-1-23図 年齢別就業時間が週60時間以上の男性就業者の割合の推移



資料：総務省「労働力調査」

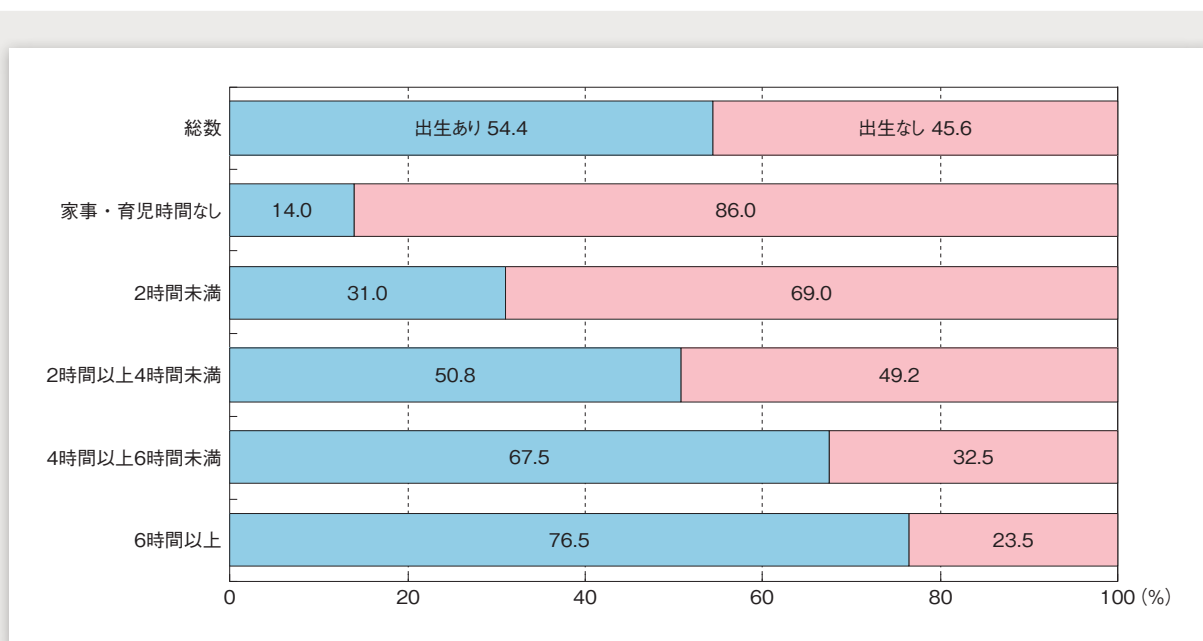
- 注：1. 数値は、非農林業就業者（休業者を除く）総数に占める割合。
2. 2011年の値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果。

男性の家事・育児

夫の休日の家事・育児時間と第2子以降の出生割合には正の関係性がみられる。男性が

子育てや家事に費やす時間をみると、6歳未満の子供を持つ夫の家事関連時間は1日当たり67分となっており、先進国中最低の水準にとどまっている。

第1-1-24図 子供がいる夫婦の夫の休日の家事・育児時間別にみたこの10年間の第2子以降の出生の状況



出典：厚生労働省「第11回21世紀成年者縦断調査」（調査年月：2012年11月）より内閣府作成。

注：1. 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回調査から第11回調査まで双方が回答した夫婦

②第1回調査時に独身で第10回調査までの間に結婚し、結婚後第11回調査まで双方が回答した夫婦

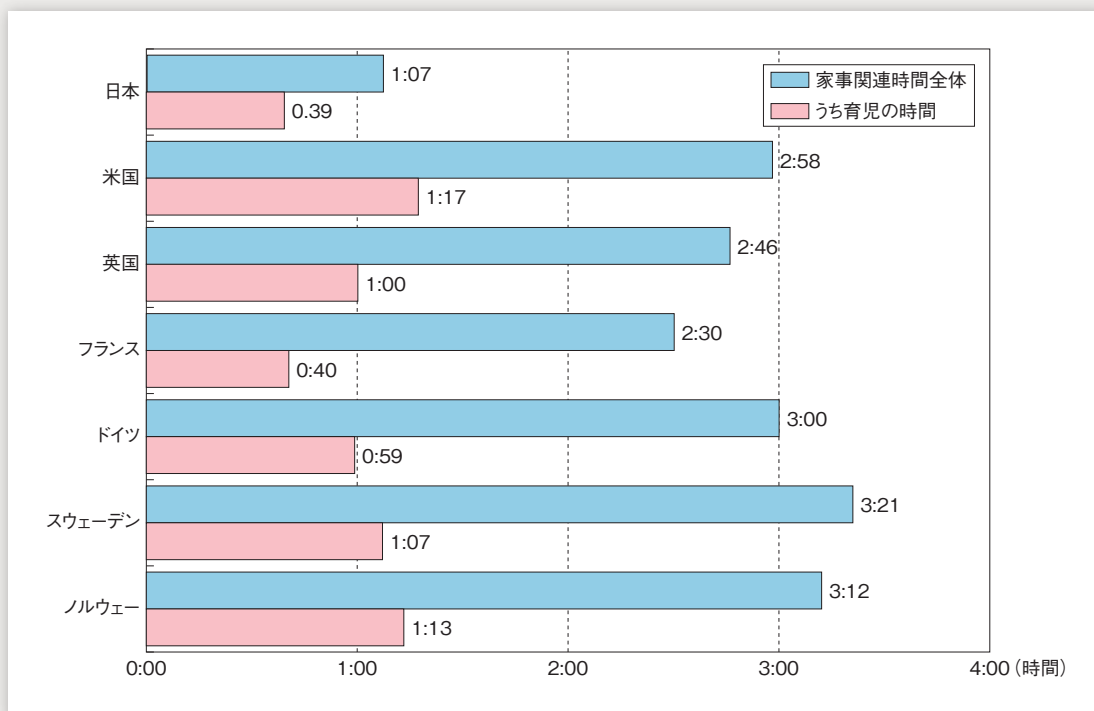
③出生前調査時に、子供1人以上ありの夫婦

2. 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第10回調査時の状況である。

3. 10年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4. 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

第1-1-25図 6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間（1日当たり・国際比較）



資料：Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men”（2004）、Bureau of Labor Statistics of the U.S. “American Time Use Survey”（2013）及び総務省「社会生活基本調査」（平成23年）より内閣府作成。

注：日本の数値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間（週全体平均）である。